日本薬剤師会学術大会は2017年東京で開催

■第50回大会
会　期：2017年(平成29年)10月8日（日）・9日（月･祝）
開催地：東京都

■第51回大会
会　期：2018年(平成30年)9月23日（日･祝）・24日（月･振休）
開催地：石川県金沢市

■第52回大会
会　期：2019年(平成31年)10月13日（日）・14日（月･祝）
開催地：山口県下関市

平成28年度社員総会のお知らせ
（来年の予定表にご記入を）

日　時：平成29年6月18日㈰　13：00～16：00
場　所：昭薬会館5階会議室
議　題：1．平成28年度会務事業報告
　　2．平成28年度一般会計決算報告
　　3．平成28年度生涯学習委員会収支報告
　　4．平成29年度会務事業計画案
　　5．平成29年度一般会計予算案
　　6．理事及び監事選考委員会報告
平成28年度は理事及び監事の任期が終了します。

お知らせ

今回の会報は、2016年度まで会費納入者、過払い者（残高3,000円以上の方）、に送っています。

会費納入率10%以下の支部の会員の皆さまには会費納入のお願い『会費納入のお願い』と払込票が届きますので、会費納入をよろしくお願いいたしいます。

会費納入は、便利な口座引き落としで

ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方

お手持ちのゆうちょ銀行の口座から毎年6月30日に引落すものです。用紙は同窓会事務所にありますので、ご連絡いただければお送りします。

口座名義：一般社団法人昭薬同窓会（振込先加入者名）
口座番号：００１００-９-４８５２６５
同窓会費：3,000円

市中銀行・信用金庫の口座をお持ちの方

お手持ちの銀行及び信用金庫の口座から毎年6月3日または7月3日に引落すもので、この場合は、同窓会事務所にある所定の申込用紙に記入してください。
事務局にご連絡いただければお送りします。

編集後記

半年前の熊本地震の復興もままならぬうちに阿蘇山噴火、鳥取地震等々災害の追い打ちに茫然といたします。それでも前に進もうとしていらっしゃる同窓生が沢山おられます。（一社）昭薬同窓会はその方々と少しでも共に在りたいと思っております。

ひるがえって、この半年の間、リオのオリンピック、パラリンピックでは人の持つ潜在能力に驚き又、大隅良典氏のノーベル生理学・医学賞受賞は地味でも極めて重要な基礎医学にたずさわる方々に大きな励みになった事でしょう。

今、薬局には従来の薬局の機能に加え地域住民の健康保持増進を支援する機能を備えた「健康サポート薬局」の機能が求められております。災害時のみならず日常でも地域住民が永く健康でいられるようサポートする事は信頼関係に基づく本来の薬剤師の仕事として、すでに以前からやっておられる方が多くおられるのではないでしょうか。薬剤師が、その職能を活かし、地域の方々に役立つ事があれば、幸いなことです。その一助として平成塾を活用下さい。

（かんさく記）

※「昭薬同窓会会報」誌と共にインターネットで「昭薬同窓会」もご覧下さい

発行者：一般社団法人 昭薬同窓会 会長（代表理事）古泉　秀夫
電話 042－722－5750　FAX 042－721－1295　〒194－0042　東京都町田市東玉川学園3丁目3138番地 昭薬会館5階内
Eメール：alinfo@shoyaku.net　ホームページ：http://shoyaku.net
印 刷 所 ： 株式会社アトリエいわさき　東京都日野市多摩平4－10 多摩平の森2－1－403

〈参考資料〉

平成27年度支部別会員数及び会費納入者数

参考までに支部ごとの会費納入率を表にしてみました。ぜひお近くの同窓生にお声を掛け合っていただいて、引き続き会費納入にご協力をお願いいたします。

昭薬同窓会　事務局

平成28年4月1日現在　会員数11,337人うち納入者1,599人（14%）

地域名別		会員総数	納入者数	納入%
北海道	道南	48	7	14.6
北海道	道央	261	75	28.7
北海道	道東	86	20	23.3
青森県	支部	76	28	36.8
岩手県	支部	60	19	31.7
宮城県	支部	70	12	17.1
秋田県	支部	131	25	19.1
山形県	支部	75	10	13.3
福島県	支部	178	35	19.7
茨城県	支部	313	62	19.8
栃木県	支部	222	26	11.7
群馬県	支部	279	37	13.3
埼玉県	支部	833	110	13.2
千葉県	支部	571	71	12.4
東京都 城東	支部	272	30	11.0
東京都 城西	支部	312	41	13.1
東京都 中央	支部	252	27	10.7
東京都 城南	支部	320	12	3.8
東京都 城北	支部	382	63	16.5
東京都 多摩	支部	576	68	11.8
東京都 多摩南	支部	349	51	14.6
神奈川県 川崎	支部	312	34	10.9
神奈川県 湘南	支部	426	41	9.6
神奈川県 北相	支部	354	41	11.6
神奈川県 西湘	支部	324	21	6.5
神奈川県 横浜北	支部	473	41	8.7
神奈川県 横浜南	支部	398	47	11.8
新潟県	支部	196	18	9.2

地域名別	会員総数	納入者数	納入%
富山県	支部	64	4	6.3
石川県	支部	49	7	14.3
福井県	支部	27	3	11.1
山梨県	支部	175	20	11.4
長野県	支部	454	54	11.9
岐阜県	支部	74	10	13.5
静岡県	支部	392	42	10.7
愛知県	支部	186	24	12.9
三重県	支部	54	10	18.5
近畿	支部	227	61	26.9
京都	支部	45	7	15.6
鳥取県	支部	25	6	24.0
島根県	支部	42	4	9.5
岡山県	支部	63	9	14.3
広島県	支部	185	27	14.6
山口県	支部	90	18	20.0
徳島県	支部	32	3	9.4
香川県	支部	69	16	23.2
愛媛県	支部	90	14	15.6
高知県	支部	62	20	32.3
福岡県	支部	131	34	26.0
佐賀県	支部	17	5	29.4
長崎県	支部	45	18	40.0
熊本県	支部	54	16	29.6
大分県	支部	40	9	22.5
宮崎県	支部	61	10	16.4
鹿児島県	支部	139	29	20.9
沖縄県	支部	296	47	15.9

一般社団法人 昭薬同窓会

昭薬同窓会会報

第111号
2016年12月1日

「高崎白衣大観音」／群馬県高崎市
（撮影者／D－11A　古泉秀夫）

第111号の主な内容

第5回一般社団法人昭薬同窓会
社員総会報告
業務支援講座報告
支部会だより
神奈川北相支部、東京城北支部、群馬支部、愛知支部、多摩南支部
クラス会だより
D-8A　D-13A
D-24B　D-38AB
一般社団法人昭薬同窓会・平成塾
薬剤師業務支援講座・スクーリングのご案内

作成したポスター（詳細はP14）

・災害支援のための義援金積み立てのお願い

●同窓会会費の納入をお願いします。

●住所変更された方、改姓された方ご連絡をお願いします。

一般社団法人 昭薬同窓会
http://www.shoyaku.net

「互助の精神」

一般社団法人昭薬同窓会代表理事
古泉　秀夫（D-11A　昭和38年卒）

全く係わりのない生活をしていた人達が、入学試験を受けた結果、昭和薬科大学に入学し、共通の場で勉強する。その結果、それぞれのクラスの中で人間関係が生まれ、更にクラブ活動の中で、上下の関係も含めて人間関係が生まれる。

その在学中に積み上げてきた人間関係の継続性を、卒業後も維持しようと務めるのが同窓会の役割ではないかと考えている。

同じ会社で仕事をしていれば、お互いに助け合い、仕事の完成度を高めようと努力する。その結果、業績が上がれば、それは後輩の採用に有利に働くことになる。薬局を経営していれば、近隣に住む同窓生が相互に協力し合うことによって、少しでも薬局の運営に役立つのであれば、相互に力を貸し合う協働の関係を作ることが可能になるかもしれない。

同窓会活動の全ては、あらゆる機会を捉えて、卒業生の互助の精神に呼び掛けるための活動をすることにある。更にその互助の精神に依拠し、困難を抱えた仲間を援助するという精神の覚醒を目指す役割があるのではないかと考えている。

組織のカンパ活動は、属する会員が馴染むまで、中々上手く行かない。カンパに応じるまで、個人的な葛藤に苛まれる。幾ら出せばいいのか、少しぐらい出しても役に立たないのではないか。前に出しているから今回はいいのではないのか。考え出せば自己煩悶は切りがない。

しかし、カンパに協力するということは、自分の出来る範囲で互助の精神を果たすと云うことではないのか。被害の対象は一人や二人ではない。地震で家を壊されたという複数の人に、家を建て直すほどの寄付を集めるなどということは土台無理である。更に颱風の影響で大雨が降り、家が水に浸かった等という被害は広範囲に及ぶものであり、全ての家の修復に要する金額を集めるほどの寄付が集められる等と云うことはあり得ない。

我々が行うのは、あくまで貧者の一灯であり、被害を受けた同窓生に対する激励の意味である。但し、貧者の一灯とは云え、カンパを集めることが重要で、基本は互助の精神、仲間を忘れていないという意思表示である。

最も最近のように、大きな地震が熊本を襲い、颱風が岩手を襲い、台風等来たことのない北海道に台風が襲来しと云う恐るべき状況を考えると、その都度カンパをする手法は、事務上の問題もあり、対応が難しいと云うことになる。ただ､対応が難しいからと云って何もしないというのでは、互助の精神に反することになる。

従って個別のカンパと云うことではなく、一度呼び掛けて集まったお金を基金としてその中から一定額を配分する。その基金が底が付きそうになれば、基金を補充するためのカンパを募集すると云う考え方ではどうかと考えている。

勿論、対象が明確でない支援カンパの呼びかけは、集め難いという弱点を持つかもしれないが、銀行口座として窓口を開き、時に応じて協力していただく体制を作り、総会の度に実情を説明する、あるいは収支の説明を続けることで、その点の理解は得られるのではないかと考えている。

カンパの呼びかけは、同窓会の主たる目的である互助の精神を呼び掛けるための運動の一つであると考えれば、大変だから何もしないというのではなく、呼び掛けるのが執行部の役割ということが出来るだろう。

同窓生に何事もないことが一番である。しかし、地球規模で異常が発生する現状を考えると、その期待は裏切られることの方が多いかもしれない。

表紙写真

（一社）昭薬同窓会群馬県支部の例会に参加する事になって、高崎の写真スポットを探した結果、高崎白衣大観音（たかさきびゃくいだいかんのん）が榛名山に次いで、選ばれていた。地元の方は単に「観音様」と呼んでいるようであるが、群馬県高崎市の高崎観音山丘陵にある大観音像である。観音山の山頂、標高190mの地点（高野山真言宗慈眼院の境内）にあり、最上階（観音像の肩部分）からは高崎市街地や群馬県の主な山々が一望できるとされている。1936年（昭和11年）、実業家の井上保三郎氏が建立した鉄筋コンクリート製の観音像、高さ41.8メートル、重さは5,985トン。原型製作は伊勢崎市出身の鋳金工芸作家・森村酉三氏。

第5回一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告

日　時：平成28年６月19日(日)　13：00～16：00
場　所：昭薬会館５階会議室
議　長：古泉秀夫（一般社団法人昭薬同窓会代表理事）
書　記：田端　康（理事）小林君江（事務局）
出席者：社員総数　　97名
この議決権の数　97個
本日出席社員数　85名
（支部選出社員 17名、クラス選出社員 18名、役員 11名、委任状 39名）
この議決権の数　85個
出席役員：理　事　古泉秀夫、島袋幸昭、松浦功文、村上純子、小川洋子、吉原隆一、逸見仁道、田端　康、小林君江、
監　事　田中秀明、小野寺敏

開会の辞：松浦功文副会長

松浦副会長より定刻に開会が宣された。社員総会に先立ち、物故者紹介の後、黙とうを捧げる。新社員として愛知支部　伊藤裕至、D－９Aクラス小川祐司、D-14Bクラス中川明子、D－17Aクラス野崎芳雄各氏と本日欠席の福島支部関　孝一、D－20A濱田博夫各氏の紹介がありました。

代表理事挨拶：古泉秀夫

年会費によって会の運営をしているが、会費を払っていない会員に会報を送る、請求書を送るなどしているが、郵送費がかかるので今後の対応の仕方も考えていかなければならない。会員数が一定人数いるにも関わらず会費納入者が10名を切っている支部で支部長と相談し納入者を増やすことが必要と考えている。また、６年制の卒業生の名簿を大学の理事会にお願いしているが、返事がない。個々の卒業生に接触することにより名簿を集める努力をしている。

平成塾については、ＣＰＣの認証を受けているので「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」により受講生が増えてきているので、さらに努力をしていきたい。

定款にもとづき代表理事が議長を務め、議長は上記のとおり定足数にたる社員の出席があったので本総会は適法に成立した旨を述べ、書記２名を任命し、下川正見議事運営委員長より議事運営上の注意と日程の説明があった後、議事に入りました。

報告第１号平成27年度会務事業報告、議案第１号平成27年度一般会計決算報告、平成27年度生涯学習委員会収支報告（平成塾）、議案第２号平成28年度事業計画案、議案第３号平成28年度一般会計予算案すべて承認されました。

議案第４号一般社団法人昭薬同窓会追加理事の承認。今年度は、理事の補充が行われ、理事会推薦として、昭和薬科大学名誉教授田口恭治先生が立候補されました。選考委員会で、資格その他を検討の上、選考委員会で推薦され、社員総会で承認されました。

議長が議案第２号の賛否を諮ったところ、出席社員全員の賛成により承認可決されました。

以上をもって本日の議事が終了したので議長は閉会を宣し降壇、古泉会長が新理事の紹介後、閉会の辞を述べた。

新理事　田口恭治氏（昭和薬科大学名誉教授・野球部顧問）

総会終了後、出席社員で意見交換会を行い、卒業以来再会した人等、和気あいあいの内に終了しました。

平成28年度会務事業計画

【総務部】

1．同窓会名簿の管理

新卒者及び住所未確定者の住所確定率の向上を図り、会費納入率と同窓生の連携を強化していきます。

2．大学の行事及び同窓会関連行事の収集・伝達

大学関連の行事を通じて大学関係者や在校生との関わり、信頼関係を築いていきます。

3．同窓会活動の情報提供

社員総会や理事会の議事録作成等をはじめ、支部・クラス会、その他必要事項の伝達（HP掲載）や情報提供を行い、同窓会活動を円滑に進めていきます。

【学術部】

1．生涯教育の継続・推進

【基本方針】地域に根ざした調剤薬局で働く薬剤師を対象として、学術ならびに行政や社会情勢に関する役立つ情報を発信します。

【活動方針】近未来を見据えた話題を中心に総論的な内容と必要に応じて各論を取り上げる。今年度は高齢者に重点を置いた「臨床検査を中心とした各論」と「多職種連携に関する総論」をテーマとします。また、４月からの薬価改定を踏まえ最近の薬事行政についての解説を行います。遠隔研修（通信講座）及び業務支援講座は継続して行います。

2．支部会との連携による研修会の開催

支部のニーズに合った研修を支援していきます。

【組織部】

1．会費納入者の拡大

会費納入会員3,000名達成を目指して、理事･各支部及びクラス選出社員が連携して、クラス･支部会員、友人、知人また職場での同窓生への会費納入の働きかけをしていきます。

2．支部・クラス会活動の活性化

・横浜北支部（仮）の発足に向けて引き続き取り組んでいきます。

・休眠支部の支部会開催を働きかけていきます。

東京都内城南支部、城西支部、城東支部、中央支部を対象とします。

・近畿支部より兵庫県支部の分離独立を図ります。

・クラス会の積極的開催を支援します。

【広報部】

1．会報の充実

同窓会報は、同窓会員の結びつきのための大切なアイテムです。同窓生の活動紹介など親しみのもてる内容の会報を発行します。

2．ホームページの活用強化

会長短信や同窓会の最新情報、支部会、クラス会の開催情報等同窓会の活動がわかるようホームページの内容を更に充実させていきます。

【会計部】

1．収入の増加策

組織部と連携した会費納入率の向上、広告費や寄付金等の呼掛けにより収入増を図ります。今年度は平成塾の講座などの参加者増を呼びかけて、より自立した会計収支を目指します。

平成27年度一般会計決算

(1) 歳入の部（決算）

（単位：円）

款	項目		27年度予算額	27年度決算額	増減	備考
今年度収入金	同窓会費	会費	6,000,000	4,898,207	-1,101,793	納入者数1,628人（重複者89人）
	雑収入	貯金利息	500	100	-400	銀行利息
		広告料金	60,000	60,000	0 0	メイプル薬局、 大田区薬剤師会
		その他の収入	300,000	215,000	0 -85,000	新潟支部会員 20万、 D-10B 12,000、D-14A会員3,000
		返金	300,000	0	0 -300,000	
	流動資金より繰入		2,969,500	5,094,537	0 2,125,037	
	収入合計		9,630,000	10,267,844	637,844	

(2) 歳出の部（決算）

（単位：円）

款	項目	27年度予算額	27年度決算額	増減	備考
会議費	代議員会・総会	600,000	595,120	-4,880	代議員会･社員総会関係
	理事会・部会	480,000	589,358	109,358	理事会、各種会議
	小計	1,080,000	1,184,478	104,478	
事業費	広報関連費	2,400,000	2,713,310	313,310	会報発行（2回）、ＨＰ管理料
	学術関連費	1,100,000	1,448,184	348,184	平成塾へ107万、CPC年会費、CAPEP年会費（協議会）
	渉外関連費	30,000	42,240	12,240	新旧理事長表敬訪問（8月、3月）
	記念事業関連費	10,000	0	-10,000	
	小計	3,540,000	4,203,734	663,734	
事務費	慶弔費	10,000	0	-10,000	慶弔関係
	人件費	2,000,000	2,049,720	49,720	事務局員給与
	通信費	200,000	183,136	-16,864	電話、FAX、OCN利用料
	諸経費	850,000	1,070,762	220,762	コピー機利用料、ハガキ、封筒、送料など
	ＯＡ関連費	100,000	0	-100,000	
	小計	3,160,000	3,303,618	143,618	
活動費	支部会関連費	550,000	859,084	309,084	支部会参加旅費、懇親会費など
	各種助成金	800,000	647,498	-152,502	支部会、クラス会、クラブOB会助成金
	小計	1,350,000	1,506,582	156,582	
予備費	予備費	500,000	69,432	-430,568	紙，本、印刷物処分費
	小計	500,000	69,432	-430,568	
支出合計		9,630,000	10,267,844	637,844	
繰越金	繰越金	0	0	0	
	小計	0	0	0	
支出総合計		9,630,000	10,267,844	637,844	

(3) 同窓会財産目録

平成28年3月31日現在（単位：円）

科目				27年3月31日現在	28年3月31日現在
流動資金	現金			311,214	69,355
	みずほ銀行		普通	144,106	253,544
	横浜銀行		普通	24,218	118,429
	郵便局		普通	959,647	1,017,190
	小計			1,439,18	1,458,518
積立金	定例積立金	郵便局	普通	8,654,962	6,815,999
	臨時・記念事業積立	横浜銀行	定期	5,055,089	5,056,096
		三菱UFJ信託銀行	普通	449,537	453,963
		三菱UFJ信託銀行	定期	10,000,000	10,000,000
		東京都民銀行	普通	3,206,968	56,413
		東京都民銀行	定期	10,135,660	10,137,680
	同窓会特別基金	三井住友銀行	普通	6,291,605	6,293,899
		三井住友銀行	定期	10,000,000	10,000,000
積立金合計				53,793,821	48,814,050
特別会計	りそな銀行 災害基金		普通	230,240	230,277
同窓会財産合計				55,463,246	50,502,845

会計監査報告

平成27年度収支についての監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

平成28年 5月 8日　会計監査　小野寺　敏　印

会計監査　田中　秀明　印

（一社）昭薬同窓会平成塾収支報告

収入

平成27年4月1日～平成28年3月31日

項目	金額(円)	備考
前年度よりの繰越金	417,487	ゆうちょ銀行 376,898 みずほ銀行 33,713 現金 6,876
通信講座受講料	702,000	18,000円×39人
スクーリング	62,500	2,500円×25人
業務支援講座	35,000	1,000円×35人
通信講座テキスト販売	1,000	
講師料寄付	20,000	スクーリング講師料寄付
認定証代	30,000	3人×10.000円
利息	25	みずほ銀行
（一社）昭薬同窓会より借入れ	1,070,000	
小計	1,920,525	繰越金含まない
総計	2,338,012	繰越金含む

支出

項目	金額(円)	備考
講師料	164,000	スクーリング4万×2回 業務支援講座2万×3 交通費　3,000×8人
通信講座テキスト　チラシ制作代	1,514,117	第1回～第4回テキスト制作、チラシ制作
通信費	44,759	はがき代、送料他
テキスト制作代（8人）	81,536	テキスト制作者執筆料
会場借用料	80,850	町田市文化交流センター借用料　平成28年度分
認定証印刷代	1,296	3人
雑費	9,452	会議費、プロジェクター等運搬,残高証明他
小計	1,896,010	
残金	442,002	ゆうちょ銀行 336,890 みずほ銀行 51,242 現金 53,870
総計	2,338,012	

会計監査報告

平成27年度収支についての監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

平成28年 5月 8日　会計監査　小野寺　敏　印

会計監査　田中　秀明　印

平成28年度一般会計予算

(1) 歳入の部（予算）

（単位：円）

款	項目		27年度決算額	28年度予算額	備考
今年度収入金	同窓会費	会費	4,898,207	6,000,000	納入者数2,000人
	雑収入	貯金利息	100	500	
		広告料金	60,000	60,000	
		寄付金など	215,000	0	寄付他
		返金	0	300,000	平成塾より返金
	流動資金より繰入		5,094,537	3,639,500	
	収入合計		10,267,844	10,000,000	

(2) 歳出の部（予算）

（単位：円）

款	項目	27年度決算額	28年度予算額	備考
会議費	代議員会・総会	595,120	600,000	代議員会、総会
	理事会・部会	589,358	600,000	理事会、各種会議
	小計	1,184,478	1,200,000	
事業費	広報関連費	2,713,310	2,700,000	会報170万、HP管理料76万他
	学術関連費	1,448,184	1,200,000	平成塾へ100万他
	渉外関連費	42,240	30,000	CPC関連会議費など
	記念事業関連費	0	10,000	記念品など
	小計	4,203,734	3,940,000	
事務費	慶弔費	0	10,000	慶弔関係
	人件費	2,049,720	2,000,000	事務局員給与
	通信費	183,136	200,000	電話、FAX
	諸経費	1,070,762	900,000	コピー機関係、ハガキ、文具など
	ＯＡ関連費	0	150,000	会員管理用パソコン
	小計	3,303,618	3,260,000	
活動費	支部関連費	859,084	800,000	支部会参加旅費、懇親会費など
	各種助成金	647,498	600,000	支部会、クラス会、OB会助成金
	小計	1,506,582	1,400,000	
予備費	予備費	69,432	200,000	
	小計	69,432	200,000	
支出合計		10,267,844	10,000,000	
支出総合計		10,267,844	10,000,000	

平成28年　社員名簿（敬称略）

支部選出社員

	支部	社員	
1	北海道道央	渡辺　良樹	D-24B
2	青森	齋藤　士郎	D-24B
3	秋田	室田　英行	D-23B
4	岩手	宮　良男	D-24A
5	山形	松田　愼一	D-18A
6	福島	関　孝一	D-18B
7	宮城	白鳥　裕	D-5A
8	茨城	青山　芳文	D-36B
9	栃木	稲瀬　實	D-20A
10	群馬	田中　由一	D-17
11	千葉	加藤　正博	D-14B
12	神奈川東	小澤　博	D-1
13	川崎	白井　博	D-21A
14	横浜南	鈴木　秀樹	D-36B
15	湘南	木下　泰男	D-24B
16	北相	髙取　亨	D-14A
17	西湘	原田　哲夫	D-23A
18	城南	佐藤ひとみ	D-30B
19	城北	吉田　定	D-16
20	多摩	大西　義雄	D-14B
21	多摩南	下川　正見	D-7A
22	新潟	曽我　睦巳	D-12B
23	福井	小林　広幸	D-34B
24	長野	田中　三夫	D-2
25	山梨	浅川　力三	D-22A
26	静岡	鈴木　典之	D-24B
27	愛知	伊藤　裕至	D-29B
28	近畿	小西　康之	D-9A
29	京都滋賀	本部　一郎	D-21B
30	岡山	小山　敏章	D-32A
31	広島	吉田　稔	D-6B
32	山口	末廣　隆	D-31A
33	香川	安西　英明	D-23A
34	高知	岡本　友男	D-3B
35	佐賀	藤戸　博	D-23B
36	大分	渕　祐一	D-22A
37	熊本	大川　正晃	D-32B
38	長崎	益田　宣弘	D-19B
39	鹿児島	坂元　成行	D-25A

クラス選出社員

	クラス	社員		クラス	社員
40	S-11	根津とよ子	62	D-16B	小岩井敏子
41	S-15	藤田　惇江	63	D-17A	野崎　芳雄
42	S-16	呉　明子	64	D-17B	渡辺　陸子
43	S-20	須藤　京子	65	D-18B	阿久津七光
44	S-21	宮澤　延江	66	D-19A	藤田　義人
45	D-1	丸山　貞子	67	D-20A	濱田　博夫
46	D-4B	柴田　達雄	68	D-20B	小池　盛明
47	D-5A	福室　憲治	69	D-21A	大石　博
48	D-6A	木嶋　敬二	70	D-22B	大石　重和
49	D-7A	加藤　久子	71	D-24A	室伏　昭
50	D-7B	山内　亮子	72	D-26B	加藤　久幸
51	D-9B	小川　祐司	73	D-28B	山崎　政男
52	D-11A	吉見　力	74	D-29B	中馬統一郎
53	D-11B	宮崎　安弘	75	D-30B	後藤　知良
54	D-12A	山本　剛	76	D-31B	浦山　剛
55	D-12B	鈴木ますみ	77	D-32A	小池　猛
56	D-13A	松井　宏之	78	D-33A	杉本　昭久
57	D-13B	服部　脩	79	D-33B	山崎　勝久
58	D-14A	森田　嘉治	80	D-36B	神戸　敏江
59	D-14B	中川　明子	81	D-41Y	柳原　良次
60	D-15B	花村　勝信	82	D-44Y	佐久間真一
61	D-16A	高田　一義			

理事及び監事

83	代表理事	古泉　秀夫
84	理事	島袋　幸昭
85	〃	松浦　功文
86	〃	村上　純子
87	〃	神作ムツ子
88	〃	小川　洋子
89	〃	吉原　隆一
90	〃	寺門　哲
91	〃	荒　義昭
92	〃	赤瀬智子
93	〃	逸見仁道
94	〃	田端　康
95	〃	小林　君江
96	〃	田口　恭治
97	監事	田中　秀明
98	〃	小野寺　敏

昭薬同窓会は一般社団法人となり、５回目の社員総会が終了しましたが、支部、クラス選出の社員が決まっていない支部、クラスがあります。支部会、クラス会を開催して、会費納入者の中より社員を選出してください。年に１回の社員総会に出ることができます。

支部、クラス社員選出については不明な点は昭薬同窓会事務局にご連絡ください。

平成塾薬剤師業務支援講座報告
多職種連携教育に携わる薬剤師の立場から

学術担当理事　逸見　仁道（D-22B　昭和49年卒）

日　時：2016年7月10日(日)
13：00 ～ 14：00
場　所：町田市文化交流センター
5階サルビア
講　師：東邦大学大学院
医学研究科博士課程医学教育学専攻
中田亜希子　先生

最近の医療のトレンドは「患者と共に歩む」であり、これを実践するための教育が大学ならびに医療現場で始まっている。医療者はそれぞれの専門性をどう発揮し、患者のための医療行為を行うかが焦点となる。即ち、従来は医師中心であった医療行為が、患者が何を必要としているかでリーダーが入れ替わることになる。そのためには当然、医療チーム間での共通認識が重要となる。教育の現場では、医学部、看護学部や検査科の学生が参加するチーム医療実習が行なわれている。しかしながら、単科大学の多い薬学部では一部の大学を除いて出足は鈍い。このような状況の中で多職種連携（IPW：interprofessional work）及び多職種連携教育（IPE：interprofessional education）に詳しい中田亜希子先生に薬剤師という立場から自身の経験を踏まえた現状と将来像についてお話をして頂いた。

10年ほど前の病棟での医師･看護師･薬剤師･患者のそれぞれの立ち位置について、薬剤師としての目線で分析してみると、当時の感覚では①医師がチームの意思決定者、②看護師との意思疎通も難しく、③薬剤師は単なる分担者であり、④患者の情報が共有されていないなどの問題点が考えられた。即ち、❶各医療人の役割の明確さの不足❷情報共有不足❸医療人ごとの異なる目標❹お互いの協調・支援不足❺コミュニケーション機会の不足❻時間不足が挙げられた。そこで、これらの問題点を解決する手段を聴講者とともに考えるべく、東邦大学薬学部で行なわれているIPEを例に挙げ、阻害要因の炙り出しや必要な事項についてプロフェッショナリズムやコンピテンシーといった専門用語の解説を交えて示された。理想となるIPWは､医師主導ではなく､「患者と共に歩む」医療者としてそれぞれの立場で何をすべきかを理解し、患者の意向を尊重することなどの様々な情報を共有し、患者のために行動することである。リーダーシップは固定されたものでなく状況に応じて変化すべきものである。「共通のゴール」の再認識や「傾聴スキル」「専門職同士の理解する機会の提供」などIPWを実現するための８つの実践目標が示された。協働実践のための環境の構築が急がれていることと同時に、IPWはして当たり前の時代に突入しており､IPWができていない状況は「患者に不利益」であるという共通認識を持つことが必須であるとの主張にはただ頷くばかりであった。

理想的な医療を提供するための協働作業は緒に就いたばかりであり、まだまだ認知度は低い。教育から始めることの重要性を再認識した講演であった。

支部会だより

神奈川北相支部

日時：平成28年5月29日(日)
場所：第一三共製薬の「くすりミュージアム」他
田端　康　（D-22A　昭和49年卒）

今回の神奈川北相支部研修会は、昨年の学術講演会と趣を変え、第一三共製薬の「くすりミュージアム」の見学を中心に、支部会員の親睦をメインに開催しました。

当日は晴天､日差しが強く夏のような暑さでした。参加者は10名とやや少なめではありましたが、和気あいあいと楽しく時を過ごし、親睦を深めることができました。また、本部より古泉会長、村上理事、それに横浜南支部長の鈴木さんにもご参加いただきました。

「くすりミュージアム」はくすりの街、日本橋にある体験型ミュージアムです。知的好奇心を刺激するコーナーがたくさん用意され、我々薬学を学んだものでも新たな発見があり、楽しい時を過ごすことができました。

「くすりミュージアム｣､｢貨幣博物館｣を見学のあと豪華な昼食をとり、その後、ＪＰタワーにある東京大学「インターメディアテク」に移動して、東京大学の研究室や実験室の什器や標本の数々を見学し、最先端技術の「くすりミュージアム」とは正反対な博物学の歴史を感じ解散になりました。

次回は、まだ決まっておりませんが、支部の皆様の多数のご参加をお待ちしております。ぜひ、ご一緒に親睦を深めましょう。

東京城北支部会

日時：平成28年9月19日（月､祝日）
場所：東京芸術劇場 6階ミーティングルーム7
吉田　定　（D-16　昭和43年卒）

総会は、高田一義氏（D－16）の司会で開催され、代表理事・古泉会長よりご挨拶をいただきました。議事に入り報告１、２、議案１、２も承認され、一時休憩の後、研修会は、今泉真知子氏（D－20）の進行により開催しました。

研修会は、日本薬科大学教授（薬品創製化学分野）・薬学博士船山信次先生を講師にお迎えし、「毒と薬と人間のかかわり」についてご講演していただきました。話はとても分かり易く、学生時代に戻ったような感覚に浸りました。

「もの」はヒトとのかかわりを持つことによってはじめて「毒」や「薬」となります。そして全く同じものがその働きの結果によって「毒」と呼ばれたり「薬」と呼ばれたりしています。いわば毒と薬には区別がなく、毒や薬という呼び方は使用された結果にすぎません。「もの」の「薬」としての側面を生かすことこそ薬剤師の仕事であることを再認識できました。

懇親会は場所を移し、「魚盛池袋店」で古泉会長や理事の先生方、講師の船山先生にもご出席いただきました。島袋副会長の挨拶と乾杯の音頭で和やかな雰囲気のもと、おおいに飲み、食べながら楽しく大いに盛り上がりました。

最後になりましたが、講師の船山先生、古泉会長をはじめご出席下さいました諸先生方に御礼申し上げます。また、支部会開催にあたり同窓会より多大なご支援、ご指導を賜りありがとうございました。

来年もまたお会いしましょう。ご出席をお待ち致しております。

群馬支部会

日時　平成28年9月25日(日)
場所　ホテルメトロポリタン高崎
田中　由一（D-17A　昭和44年卒）

ホテルメトロポリタン高崎において、７年ぶりの支部会を午後１時より開催しました。参加者は、ご来賓を含めて28名でした。

同窓会本部より古泉秀夫代表理事、島袋副会長及び元木和幸昭和薬科大学理事長に東京よりご参加いただき誠に有難うございました。

今回は、研修会は行わずに会員相互の親睦を深めることにして、会を開催しました。

竹内信夫（D－20A）の司会により開会し、冒頭群馬県会員物故者に黙祷を行いました。

ご来賓の挨拶･紹介の後､齊藤一之氏（D－30A）が、４月に群馬県薬務課長に就任されましたので、県の先輩上原淳子氏（D－15A）より、花束の贈呈を行い全員でお祝い致しました。

斎藤實前支部長（D－6B）の乾杯で祝宴に入り、懇談が進む中、出席者全員により自己紹介を行い、和気あいあいと会員同士の親睦を深めることができたことと思われます。

最後に小林千美氏(D－8B)より閉会の挨拶があり、次回も本日よりも大勢の方が参加されることを望みますとの言葉で終了になりました。

次回は、研修会等も企画し支部の皆様方が多数参加される会を、目指していきたいと思っております。ご出席をお待ちしております。

最後になりましたが、支部会開催に当たり、同窓会本部より多大なるご支援をいただきまして御礼申し上げます。

「第49回日本薬剤師会学術大会 in 愛知」にて愛知支部会開催

日時　平成28年10月9日(日)　18：30～21：00
場所　ウィンスティンナゴヤキャッスルホテル　銀の間
伊藤　裕至（D-29B　昭和56年卒）

第49回日本薬剤師会学術大会が「プロフェッションを追及する ～ Best and beyond ～」をテーマとして10月９日(日)･10日（月祝）の２日間にわたり名古屋国際会議場をメイン会場に開催され全国から約10,000人の薬剤師が参集しました。

学術大会に合わせて開催することが恒例となっています昭薬同窓会の懇親会をウィンスティンナゴヤキャッスルホテルにて開催しました。昭薬同窓会から古泉秀夫会長、田端康理事、寺門哲理事にもご出席いただきました。愛知県以外に神奈川県、長野県、岐阜県、三重県、福岡県、鹿児島県、沖縄県から31人の同窓生が集まりました。

古泉会長のご挨拶、三重県の上村武先生の乾杯にて懇親会はスタートしました。名古屋産の食材を使

用した和食をいただきながら昔を懐かしみ歓談しました。また寺門理事が大学の歴史や現在大学で行われている薬学教育などについてスライドを用い紹介されました。さらに全員が１分間スピーチを行いそれぞれの学年の思い出や体験談を聞くことができました。

ホテルの同じフロアで日本薬剤師会懇親会が開かれていたこともあり、元文部科学副大臣藤井基之参議院議員、日本薬剤師会の山本信夫会長、村松章伊常務理事（愛知県薬剤師会長）、安部好弘常務理事（昭和薬大卒業）、安西英明理事（昭和薬大卒業）もご挨拶にいらっしゃいました。さらに内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）松本純衆議院議員からは心のこもったご祝辞の電報をいただきました。

最後に神奈川県の渡辺陸子先生から中締めのお言葉をいただき、ご出席の同窓生ならびに昭薬同窓会の発展を祈念いたしました。

第50回日本薬剤師会学術大会の開催地は東京都とのことです。次回の昭薬同窓会懇親会でも皆さまにお会いできますことを心待ちにしています。

多摩南支部会

日時：平成28年10月23日㈰
場所：町田市民ホール第3会議室
島袋　幸昭（D-20B　昭和47年卒）

町田市民ホール第三会議室において、第22回多摩南支部地域学術研修会と総会を開催しました。

今回の研修会は今年４月の診療報酬改定で薬剤師が患者の服薬状況を一元的かつ継続的に管理する仕組みとして“かかりつけ薬剤師制度”が新設されたのを機会に「６年制卒一期生のかかりつけ薬剤師とかかりつけ薬局」と題して、鈴木伸悟先生と（１期生）古寺美笛先生（３期生）に講演を依頼しました。

鈴木先生は地元の開局薬剤師が健康相談や薬について懇切丁寧に説明する姿に憧れて薬剤師になることを志した。卒業後は大手のドラッグストアに就職したが爆買いの観光客相手にこれが薬剤師の仕事かと疑問を感じて退職し、ウイン調剤薬局の横浜西口店店長として開局から携わり、地域のかかりつけ薬局となるための工夫として、ポスター掲示や外から見えるように空箱を活用したＯＴＣのボリューム陳列をはじめ、顧客が選びやすい配合成分別の商品配列を行い、薬局の敷居を下げて患者さんが相談に入りやすくしている。待合室、調剤室は常に清潔に保ち感じのよい雰囲気作りをして、分かりやすい説明と患者さんの状態によっては、受診勧奨表に基づき医療機関での受診勧奨も行っている。また地域活動にも積極的に参加して、横浜市西区の納涼まつりでお薬相談会も行ってきたとのことでした。

古寺美笛先生はドラッグストア事業と介護支援事業を展開しているクスリのナカヤマでかかりつけ薬剤師として必要なカウンセリング能力、情報収集、薬歴記載事項に関する事などについて、日々研鑽を積んでいるとのことでした。

今回の研修会は、６年制卒の薬剤師が医療の現場で活躍していることに誇りを感じるとともに同窓会が若い卒業生に発表の場を提供することも重要であると思いました。

古泉秀夫会長のご挨拶を頂いた後研修会を終了し、引き続き支部総会を開催しました。支部総会は支部長の下川正見支部長が体調不良のため、前支部長の飯田好一先生が代行して開会の挨拶を行い、下川正見支部長より次期支部長を選任してもらいたいとの連絡をうけたとの報告を受け、支部長に中島薫先生を選任した後、村上純子会計幹事より平成27年度の会計報告を行い承認されました。支部会終了後、懇親会を行い楽しいひと時を過ごして終了しました。

昭薬同窓会 多摩南支部地域学術研修会講演内容
「6年制1期生によるかかりつけ薬局 薬剤師の取組み」

ウイン調剤薬局横浜西口店　店長・管理薬剤師　鈴木　伸悟さん

写真右が鈴木さん、左が古寺さん

鈴木伸悟さん　プロフィール（写真右が鈴木さん）
平成24年　昭和薬科大学薬学部薬学科卒業（六年制薬学一期）
平成26年　マツモトキヨシホールディングス退社
平成26年　有限会社ウインファーマ入社
平成27年　ウイン調剤薬局横浜西口店　立ち上げ　店長管理薬剤師就任
第48回日本薬剤師会学術大会　発表
「保険薬局でのかかりつけ薬局を目指したＯＴＣ医薬品販売の取組み」
平成28年　東邦大学との共同研究の開始
「薬剤師介入による医療費削減効果の検証」
第10回日本薬局学会学術総会　発表
「保険薬局におけるOTCの販売状況からセルフメディケーションの拠点となるための可能性を探る」

横浜駅西口に面展開の調剤薬局として2015年１月に開局。開局初月に持ち込まれた処方せんは月70枚であったが、ＯＴＣ取扱い等様々な取組みにより２年たたずに月500枚を超え、医療機関400施設以上から処方せんを受け付けています。

私が小さい頃は商店街に小さな薬局があって、風邪を引いたり、体調が悪くなると、まずそこに行って薬剤師さんに相談し、薬を選んでもらっていました。ところが現在では、かつての薬局は街から少なくなり、市販薬はドラッグストアで購入、調剤薬局は処方せんを応需するだけのような構図になっています。昔ながらの処方せんなしで気軽に相談できる薬局を、進化する町横浜で作りたいというのが立ち上げ時の思いでした。

当薬局では、保険薬局ながらＯＴＣや医療雑貨などおよそ400品目を配置しております。そこで来店者視点で外装と内装を徹底的に工夫し、ドラッグストアのノウハウを生かし薬局としての敷居を下げ、処方せんなしでも入りやすい状態を作りました。さらには成分ベースでのＯＴＣの配列やＰＯＰ、受診勧奨シートを用いた受診勧奨の取組み等、薬剤師による親身な対応をしております。ＯＴＣの相談者は、月平均320人に上り、そのうち受診勧奨者は月10人を超える月もあります。また、地域の健康と福祉のお祭りにお薬相談ブースを出展するなど地域活動にも力を入れております。

私は薬局が医療のファーストコンタクトの場になれればいいなと常に考えております。そのためには、私たち薬剤師自身がセルフメディケーションの中核を担うんだという自覚と向上心を持つことが重要だと考えます。薬剤師が先頭に立って、地域住民の健康をサポートしていくことで、医療費削減にも貢献できます。今後も患者のニーズを追求し、処方せん調剤だけでなく健康相談や受診勧奨を続けていきます。

クラス会だより

D-8A

平成28年5月18日㈬　13：00～15：00
斉藤　浩子　（D-8A　昭和35年卒）

始めは４年毎だったクラス会も、年々少なくなる会員のため、最近は毎年になっています。年齢も八十には間がありますが、傘寿を迎えるお祝いも兼ねてという事で、開催が決まりました。場所は白金台「八芳園」古めかしい門を、二つも入り本館へと急ぐ途中、溢れんばかりの青葉若葉、満開の薔薇や牡丹の笑みが迎えてくれました。池には沢山の緋鯉、真鯉の群れが、

元気に泳ぐ姿も。

今年の出席者は、25名（男性5名、女性20名）先ず幹事の後竹さんの発案で、鬼籍に入られた21人の方々に黙祷を捧げました。

懇親会では、昭薬では有名な堀江さんから始めました。近頃身体が自由にならない、忘れっぽいなど高齢者らしい話。中には老々介護もありました。又薬剤師の免許証を使用しないでは親に済まないと職を換えた話などあり共感して聞くことができました。開局している方々は、もうそろそろ店を譲る時期かと考えているとも言われました。遥々北海道から出席の大平さんは、かえ唄の余市甚句を聴かせてくれ座は大いに盛り上がりました。

２時間は瞬く間で次回の幹事を川上さん（長野在住）にお願いすることに決定、席を新館の喫茶ホールにかえ雑談の後、４時過ぎにお開きになりました。写真の通りに皆様とても良いお顔ぶりの友人達でした。

D-13A

平成28年5月17日㈫～5月20日㈮　小豆島

川村　初子　（D-13A　昭和40年卒）

光陰矢の如し、以来早くも、50年の歳月が流れ、七十路を迎える年齢になり伴侶を亡くしたり、お子さんを亡くしたりの、悲しみをかかえながら、参加してくださいました。

突然の地震に見まわれ、同窓会をキャンセルした人もいましたが、参加にあたり、東北・東京・九州・沖縄に至る遠路にもかかわらず、21名の参加をいただき、盛況に開催することが出来、私達の今回のクラス会は、前泊、クラス会、後泊とし、それぞれ都合に合わせて、多数の参加を願って、計画しました。

第１陣は、朝９:25　羽田 発の２人（女性）

第２陣は、　12:00　羽田 発の３人（男性）

幹事が手配したのは、５人だけ、後は切符の手配等は個人にまかせ、その様にして、高松港→小豆島草港の行きタクシーで小豆島オリーブ公園、ここは、内海湾が見渡せる小豆島の中でも絶景の場所、光あふれる、エーゲ海をイメージした、地中海風ロッジ、オリーブの緑とハーブの香りに包まれた所で、男性３人、女性８人、宿泊

夕食は創作料理「野の花」でとり、次の日の朝はおにぎりで済ませ、クラス会当日は、朝、船で来た７人と合流し、18人で、貸切マイクロバスで島内観光（24の瞳、土渕海峡）土渕海峡は世界一短い海峡でギネスに載っているようです。

壷井栄の文学館では、黒島伝治、詩人の壷井繁治３人の文学者が展示され、３人とも、自らの文学を築きあげ日本の文学史に足跡を残した、永遠の文学として評価されている事を、改めて気付きました。

後泊は、小豆島大部港を出発し、岡山日生港へ、観光バスで備前焼を見学し、世界最古の庶民のための、公立学校、旧閑谷学校を見学、江戸時代前期（1670年）に岡山藩主　池田光政によって創建。丁度、講座の床に正座して論語を学ぶ、中学生らしき人達に感動を覚え、思わず閑谷学校保存会のあいうえお論語を買ってしまいました。

ホテルからの迎えバスで、湯郷温泉「竹亭」で３人加わって21人泊まる。

宴会後、二次会は男性の部屋で×ゲームやらで、大賑わいし、各自の部屋に帰りぐっすり。

短い時間でしたが、現況報告、学生時代の思い出話に花を咲かせることが出来、次回は九州の宮崎でお会いしましょうと別れを惜しみながら、幹事にエールを送り帰路につきました。きっと今頃、瀬戸内と小豆島の素晴らしい景観と自然に思いをはせている事でしょう。

D-24B

平成28年9月24日㈯

横内　功晴・重永　敏朗（D-24B　昭和51年卒）

台風16号の影響が危惧されながらも、前日に台風は通過し、平成28年９月24日17時から24Ｂクラス会を無事開催することができました。

さて、24Ｂクラス会は４年毎に開催していますが、これはクラス会開催年を各自が忘れないように、夏季オリンピック年に実施することにしています。住所が把握できているクラスメート122名に案内し36名の参加を得ることができました。欠席の葉書には、親の介護で手が離せない事情が圧倒的に多く、これも我々60歳前半の年代では仕方ないことかもしれません。また、いまだ現役の薬剤師で頑張っているため参加できない方もいました。

当日は飛行機の影響で若干遅れた方もいらっしゃいましたが、北は北海道から南は沖縄まで遠路にもかかわらず駆けつけていただきました。最初に物故者への黙とう、その後乾杯へと移り賑やかな宴席へと展開しました。

近況報告では、お仕事の様子、現役引退後の趣味の話、お孫さんの事等々があり、皆さんのお元気な日常を伺うことができました。話は尽きることなく盛り上がり、次回幹事による2020年の東京オリンピックの年での開催宣言を最後に閉会になりました。

24Ｂクラスは今年で卒後40年。この先いつまでクラス会を開催できるか分かりませんが、大学同窓会の協力を得つつ、せめてあと数回継続できればと願う次第です。

D-38AB

平成28年7月16日㈯

森田　恭央　（D-38B　平成２年卒）

真夏の三連休の初日に東京駅でクラス会を開催しました。北は北海道、南は広島から総勢78名の参加者でした。皆様、どうもありがとうございました。

冒頭に、僭越ながら私から昭和薬科大学同窓会として、同窓会、先生方、同期、先輩、後輩、研究室、クラブのＯＢ・ＯＧ会、各地での昭薬会等々での繋がる意義を話させて頂きました。具体的には、新卒の就職活動にも積極的に関与してあげてほしい旨もお伝えしました。

お酒が入る前の序盤にと用意した、「昭薬クイズ」や「サザエさんクイズ」も仲間同士の話が盛り上がり、クイズは不要であったとの嬉しい誤算でした。お酒のミスも無く、紳士淑女の会でした。又、ご協力頂いたアンケート結果のトップを抜粋します。①クラス会の開催頻度：１回／４～５年　②開催時期：７月　③開催曜日：土曜　④開催時間帯：17時から３時間　⑤開催場所：東京駅　⑥参加費：6000円

今後の参考にさせて頂きます。

今回は、ラインやメールで、繋がっている仲間に、クラス会の日時や参加を伝え合うという、招請方法を取らせて頂きました。同窓会の開催情報が来なかった仲間もいらしたと思います。この場をお借りして、お詫びします。

また、数年後に仲間で再会したいと思っています。皆様、健康第一で、公私にご活躍をお祈りしております。次回幹事の自薦や他薦も、お待ちしております。最後に、ご出席頂いた仲間と協力してくれた幹事メンバーと昭薬同窓会に深謝します。

一般社団法人昭薬同窓会・平成塾
薬剤師業務支援講座・スクーリングのご案内

薬剤師業務支援講座

日　　時：12月18日㈰　14：00～15：30（受付13：30～）

演　　題：**『毒と薬と人間のかかわり』**

講　　師：**船山信次**　　日本薬科大学薬品創製化学分野教授

人類は古来より毒を薬として利用してきた。地球誕生から46億年を１年に換算すると100年は１秒以下となり、換算した時系列で毒と薬の歴史を４つの時代に分けて解説する。即ち、古代（太古から平安時代）・中世（～江戸時代）・近世（江戸時代）・近代～現代（明治以降）の毒と薬について代表的な事例を挙げ、毒を毒として、あるいは毒を制して薬として利用してきたかを概説する。「薬食同源」と「医食同源」の言葉の生まれた経緯や正当性なども含め、同時に著書に著した内容も紹介しながら「毒と薬」の理解を深めるべく講演を行う。

場　　所：昭和薬科大学第二教室　〒194－8543　町田市東玉川学園3－3165
JR横浜線「成瀬駅」からバス　または
小田急線「玉川学園前駅」からバスまたは徒歩約15分

取得単位：薬剤師認定制度認証機構CPC（G12平成塾）１単位
（研修センターなど他の機関との併用できますが、各団体により併用許容割合が異なります）

受 講 料：1,000円

申込方法：ゆうちょ銀行備え付けの**払込取扱票**でお振込み通信欄に**12／18受講料**とご記入の上、お名前、ご住所、連絡先お電話番号（昭薬卒業生でコードNo（宛名ラベルお名前左下の３～５桁の数字）がわかる方はご記入下さい）もお書きになって窓口またはATMにてお払込みください。

受講料振込締切：12月13日㈫（受講料お払込で受付完了です）
（12月14日～17日にお払込みの場合、貯金センターより連絡が間に合わないため下記の事務局へ受講申込をお電話またはメール連絡、当日は振替受領証をご持参ください）
週末は事務局閉所につき出席お申込などのご連絡は12月16日金曜日15：00までにお願いいたします。
どうしてもご多忙のためお払込みできない方はご一報ください。当日お支払いにして予約をいれさせていただきます。
資料用意の都合上**要事前予約**でお願いいたします（土日は事務局閉所のため12月16日金曜15：00迄）

薬剤師業務支援講座【お知らせが会報到着後となり申し訳ありません】

日　　時：11月13日㈰　13：00～14：30

場　　所：町田市文化交流センター４階サルビア

演　　題：**寄生虫的Zoonosis（人獣共通寄生虫）**

講　　師：**青木　忍**（元岩手大教授）

認定単位：平成塾１単位

受 講 料：1,000円

第14回　一般社団法人昭薬同窓会・平成塾スクーリング

日　　時：2017年３月12日㈰

演　　題：**「アレルギー・感染症の検査値の読み方と病態意義」**

講　　師：**石川文雄**　東邦大学医学部講師
本年度の通信講座より２テーマをとりあげて開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

主　　催：一般社団法人昭薬同窓会・平成塾

認定単位：昭薬同窓会平成塾の発行する生涯研修認定単位２単位
※薬剤師認定制度認証機構認定（薬剤師研修センターの単位に加算可※割合には条件があります）

申込方法：ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票に**『第14回スクーリング申込』**、お名前、緊急の際の連絡先を明記の上、**受講料1,000円**（テキスト代込み）をお払込みください。
※2016通信講座受講生はスクーリング受講料免除となります。事務局にメールまたはFAXで参加お申し込みください。該当のテキストをご持参ください。

●各講座の受講料の振込は　　問合せTEL 042－722－5750
郵便振替口座番号：00150－0－373885
加　入　者　名：昭薬同窓会生涯学習委員会
※振替受領証は申請時に必要になりますので保存しておいてください。※受講申込は受講料の振込をもって受付終了となります。

会員訃報

下記の方のご逝去を悼み、慎んでご冥福をお祈り申し上げます（敬称略）
（　　）内は旧姓

S-15	山田　良子（真田）	2014.9	
S-15	斎藤　ヤヱ（蓮沼）	2016.9.29	
S-18	植村　澄子（亀井）	2013	
S-18	細野　輝子	2016.1.26	
D-1	田家　照生	2016.6.30	
D-3A	鳥山　芳枝（近藤）	2016.2.11	
D-5B	小林　健		
D-6B	横山佐智子（増井）	2015.3.5	
D-8A	堀江　栄一	2016.8.21	
D-8B	清水　陽子（林）	2015.3.26	
D-10B	小沢　等	2013.5.13	
D-10B	杉本　光雄	2016.1.29	
D-10B	柳内　一	2015.5.26	
D-12A	佐藤　清一		
D-12A	中島　勲男		
D-12B	上井　操（中山）	2016.7	
D-13A	篠田　晃子（宮沢）	2016.10.20	
D-13B	川又　洋子	2016.5.1	
D-14B	桑島　明子		
D-14B	進来　素子		
D-18A	篠田　雅敏	2014.3.7	
D-20A	高木　茂	2015.9.9	
D-21B	町田　純子	2016.1	
D-22A	石和田博史		
D-22A	杉浦　正純		
D-22A	武井　修		
D-22A	坂元　公子		
D-22A	吉田　義悦		
D-22A	和田　憲明		
D-22A	渡辺　紀子		
D-22B	吉田　泰司		
D-24B	安藤　嘉範	2015.12.16	
D-24B	長嶺寿美江（猿谷）	2015.7.28	
D-25A	山崎　篤子（中村）	2013.11.11	
D-36B	壁村　大輔	2015.8	
D-42S	平野　篤史	2016.4.5	
D-46S	富田奈緒美		
D 57Y	飯島　航	2014.11.23	

災害支援のための義援金積み立てのお願い

震度7の余震とそれに続く震度7の本震という妙な揺れ方をした熊本地震、その後に起こった台風による土砂災害など、地球温暖化に伴う災害は、どこで起こるか解らないと云われています。

東日本大震災の時には、皆様に御寄付を呼び掛けて被災者の同窓生の方々にお見舞金をお送りしました。熊本地震の際にも被災状況をアンケート調査し、15名の方にお見舞金をお送りしました。

10月12日㈬に起こった鳥取県地震においても、被災された同窓生の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

このように各地で地震や土砂災害など、何か起こった時に、急遽対処するのでは、時宜を失する事態にもなりかねません。そこで事前にお見舞金を送る体制を作っておきたいと考え、災害支援のためのご寄付をお願いすることになりました。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

名義　**昭薬同窓会**
口座　**00130-0-136527**　　郵便局よりお振込ください。必ず**「寄付」**と書いてお振込下さい。